

# 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

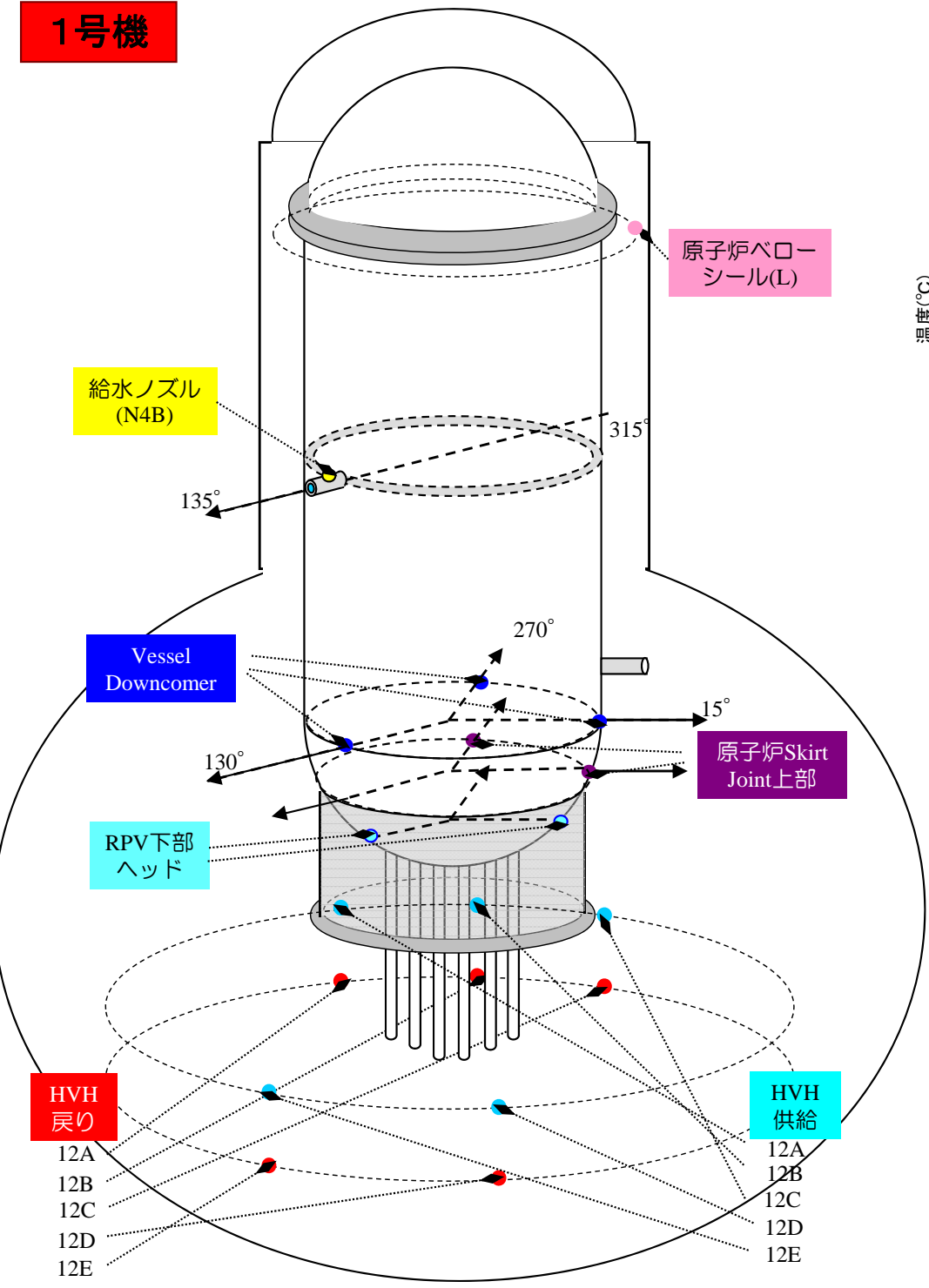
号機	1号機		2号機		3号機	
	7月29日	8月26日	7月29日	8月26日	7月29日	8月26日
原子炉注水状況	給水系：2.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.9m <sup>3</sup> /h (7/29 11:00 現在)	給水系：2.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.9m <sup>3</sup> /h (8/26 11:00 現在)	給水系：2.1m <sup>3</sup> /h CS系：2.4m <sup>3</sup> /h (7/29 11:00 現在)	給水系：2.1m <sup>3</sup> /h CS系：2.4m <sup>3</sup> /h (8/26 11:00 現在)	給水系：1.9m <sup>3</sup> /h CS系：2.3m <sup>3</sup> /h (7/29 11:00 現在)	給水系：2.0m <sup>3</sup> /h CS系：2.3m <sup>3</sup> /h (8/26 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：27.2℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：27.1℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：27.0℃ (7/29 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：28.8℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：28.7℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：28.7℃ (8/26 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：33.4℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：33.5℃ (7/29 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：35.0℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：33.4℃ (8/26 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：30.7℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：30.5℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：29.7℃ (7/29 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：33.3℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：33.5℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：32.2℃ (8/26 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：27.3℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：27.0℃ (7/29 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：29.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：28.6℃ (8/26 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：34.6℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：33.3℃ (7/29 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：36.3℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1)：35.0℃ (8/26 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：30.2℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：29.0℃ (7/29 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：33.1℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：33.5℃ (8/26 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	1.0kPa g (7/29 11:00 現在)	1.0kPa g (8/26 11:00 現在)	5.30kPa g (7/29 11:00 現在)	4.99kPa g (8/26 11:00 現在)	0.26kPa g (7/29 11:00 現在)	0.26kPa g (8/26 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV：27.46Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (7/29 11:00 現在)	RPV：27.60Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (8/26 11:00 現在)	RPV：15.40Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (7/29 11:00 現在)	RPV：15.41Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (8/26 11:00 現在)	RPV：16.43Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (7/29 11:00 現在)	RPV：16.41Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (8/26 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (7/29 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (8/26 11:00 現在)	A系：0.01vol% B系：0.01vol% (7/29 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.01vol% (8/26 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.05vol% (7/29 11:00 現在)	A系：0.05vol% B系：0.05vol% (8/26 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：ND(6.50E-04Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：1.41E-03Bq/cm <sup>3</sup> (7/29 11:00 現在)	A系：9.10E-04Bq/cm <sup>3</sup> B系：1.06E-03Bq/cm <sup>3</sup> (8/26 11:00 現在)	A系：ND(2.5E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (7/29 11:00 現在)	A系：ND(2.5E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (8/26 11:00 現在)	A系：ND(2.9E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(3.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (7/29 11:00 現在)	A系：ND(2.9E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(3.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (8/26 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	31.0℃ (7/29 11:00 現在)	28.0℃ (8/26 11:00 現在)	31.8℃ (7/29 11:00 現在)	27.6℃ (8/26 11:00 現在)	28.0℃ (7/29 11:00 現在)	23.3℃ (8/26 11:00 現在)
FPC 排水タンク 水位	3.70m (7/29 11:00 現在)	2.84m (8/26 11:00 現在)	4.75m (7/29 11:00 現在)	2.41m (8/26 11:00 現在)	3.59m (7/29 11:00 現在)	2.87m (8/26 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	7月29日	8月26日	7月29日	8月26日	7月29日	8月26日
使用済燃料 プール水温度	26.4℃ (7/29 11:00 現在)	23.9℃ (8/26 11:00 現在)	26.2℃ (7/29 11:00 現在)	29.0℃ (8/26 11:00 現在)	25.6℃ (7/29 11:00 現在)	27.7℃ (8/26 11:00 現在)
FPC 排水タンク 水位	4.59m (7/29 11:00 現在)	4.08m (8/26 11:00 現在)	3.65m (7/29 11:00 現在)	2.00m (8/26 11:00 現在)	3.65m (7/29 11:00 現在)	2.30m (8/26 11:00 現在)

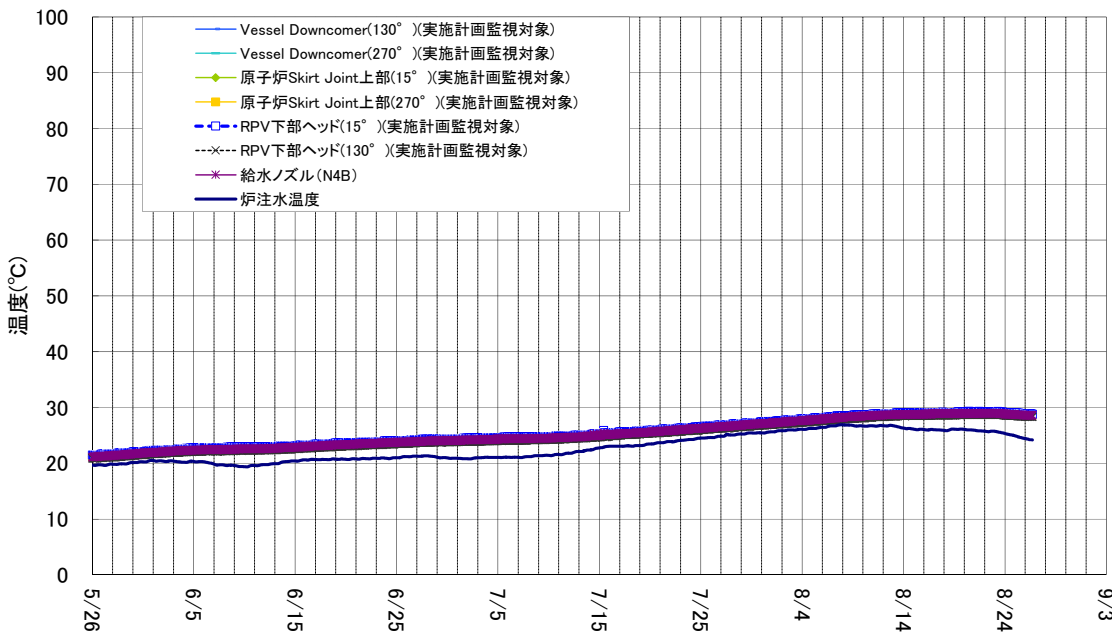
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。  
 ※2: 窒素封入停止中  
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20℃～約45℃で推移。  
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。  
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

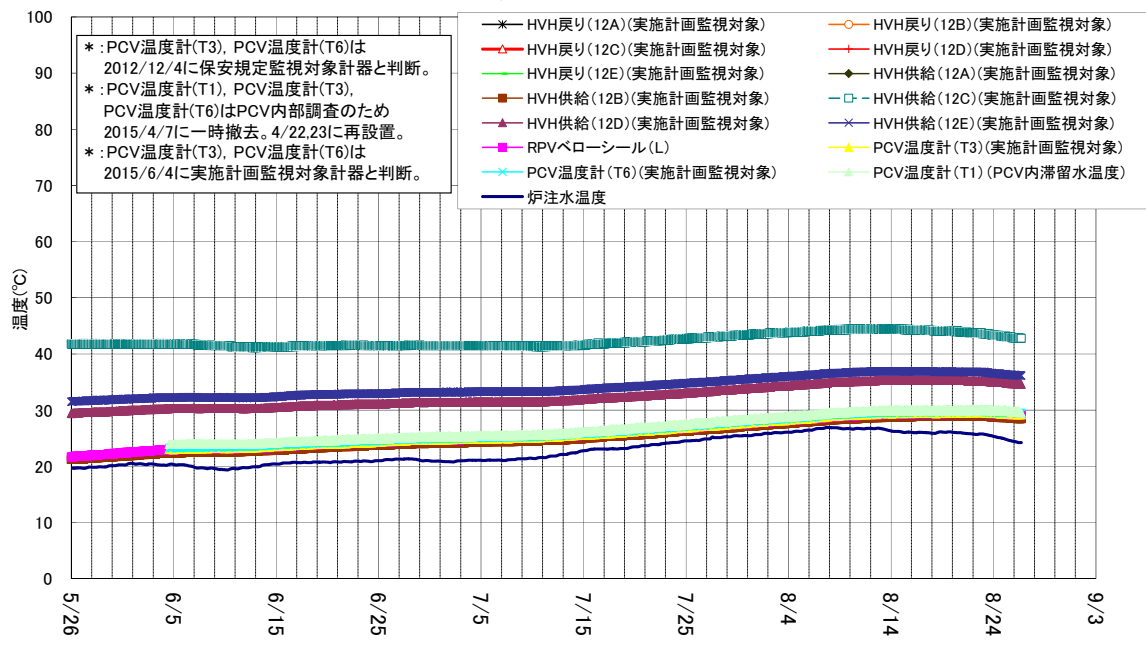
# 1号機



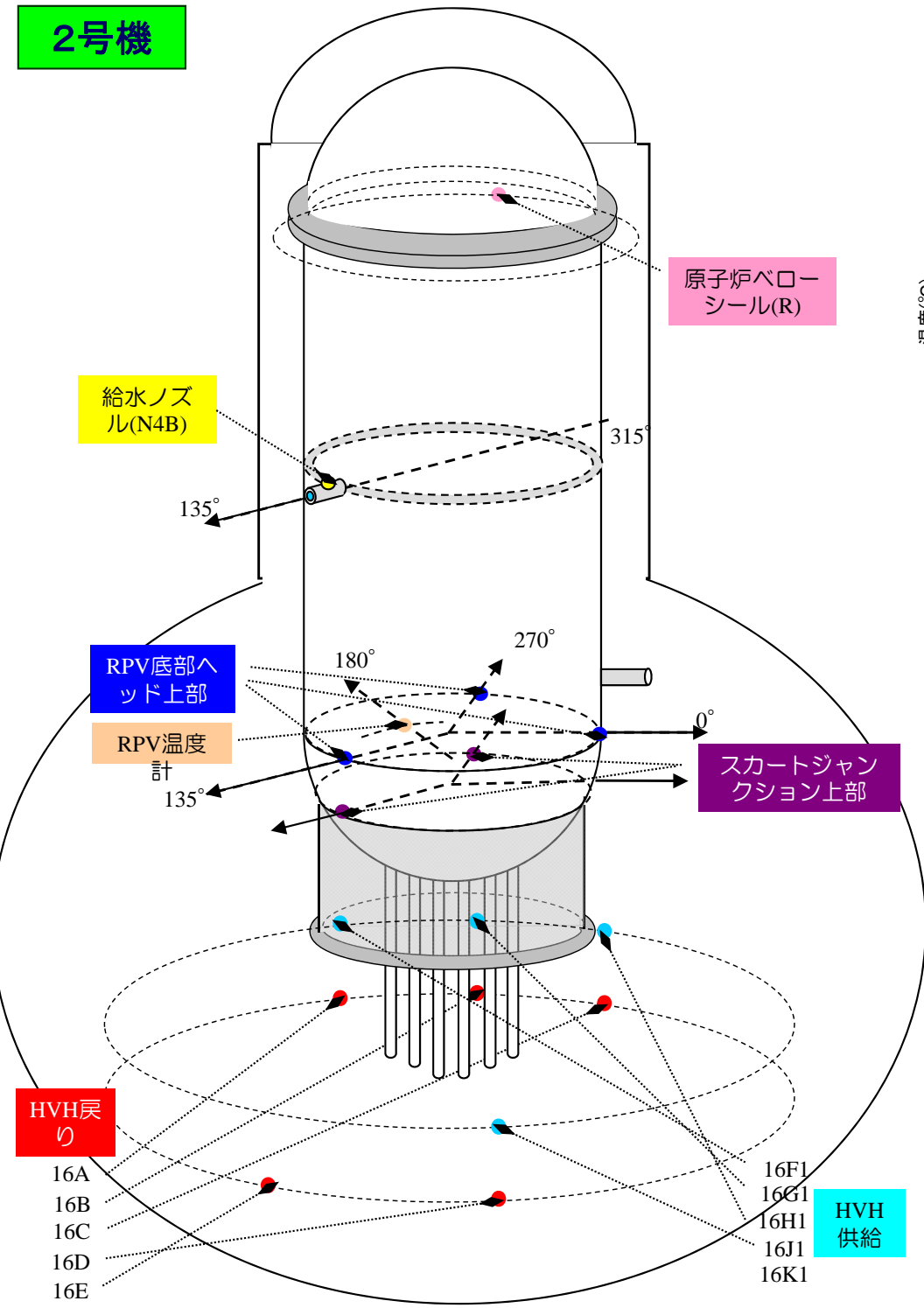
1号機 原子炉压力容器まわり温度(5/26~8/26)



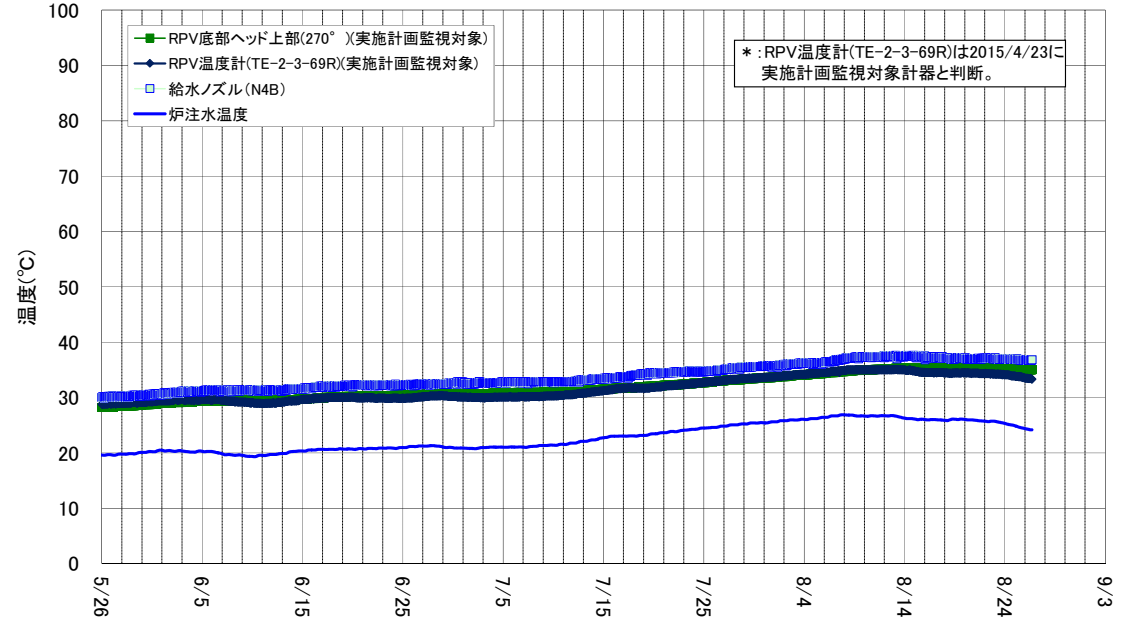
1号機 D/W雰囲気温度(5/26~8/26)



# 2号機

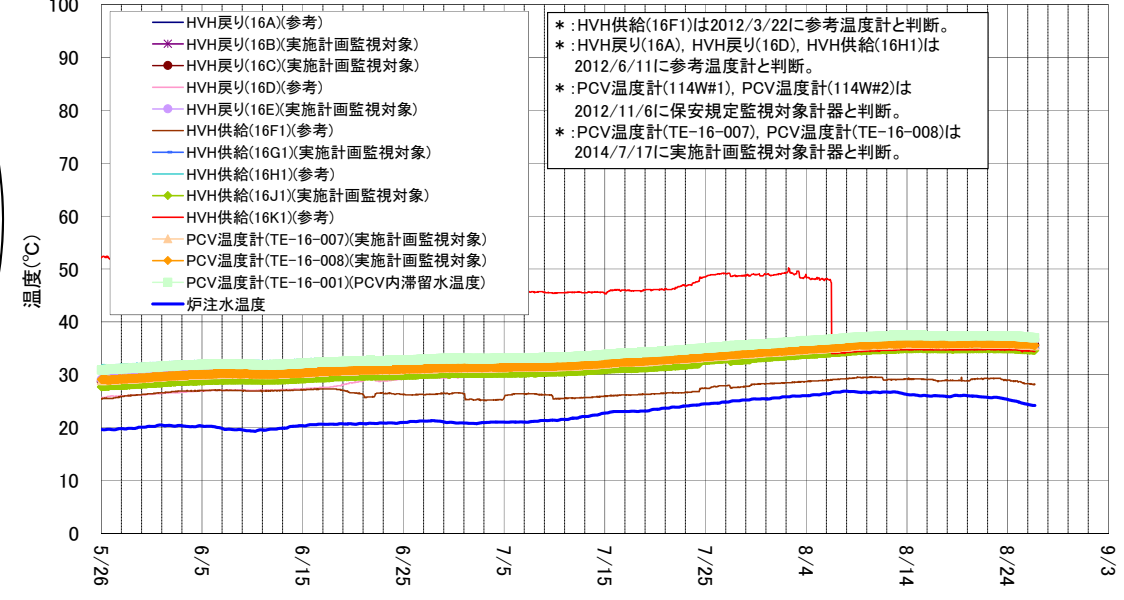


2号機 原子炉压力容器まわり温度 (5/26~8/26)



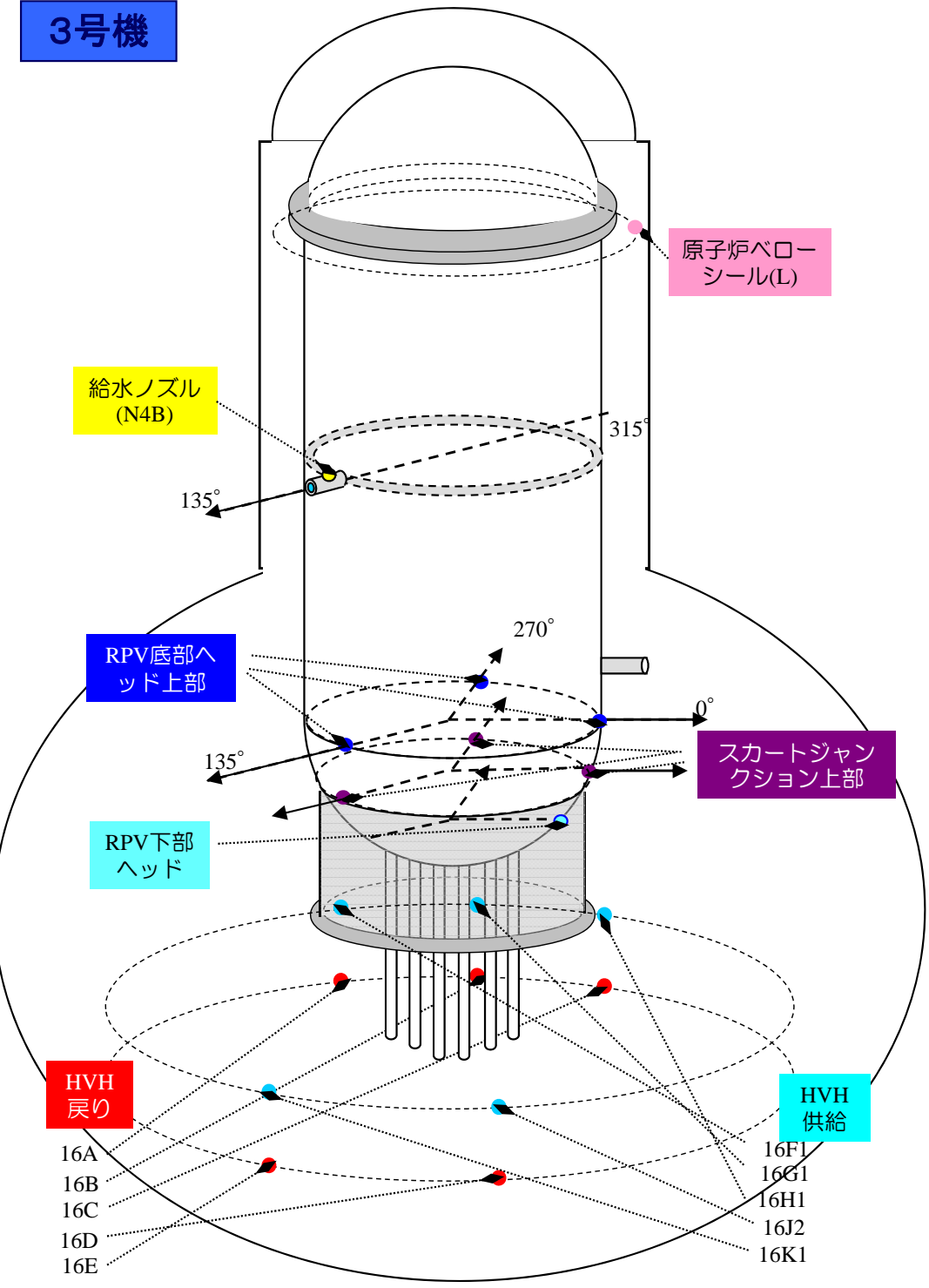
\* : RPV温度計(TE-2-3-69R)は2015/4/23に実施計画監視対象計器と判断。

2号機 D/W雰囲気温度 (5/26~8/26)

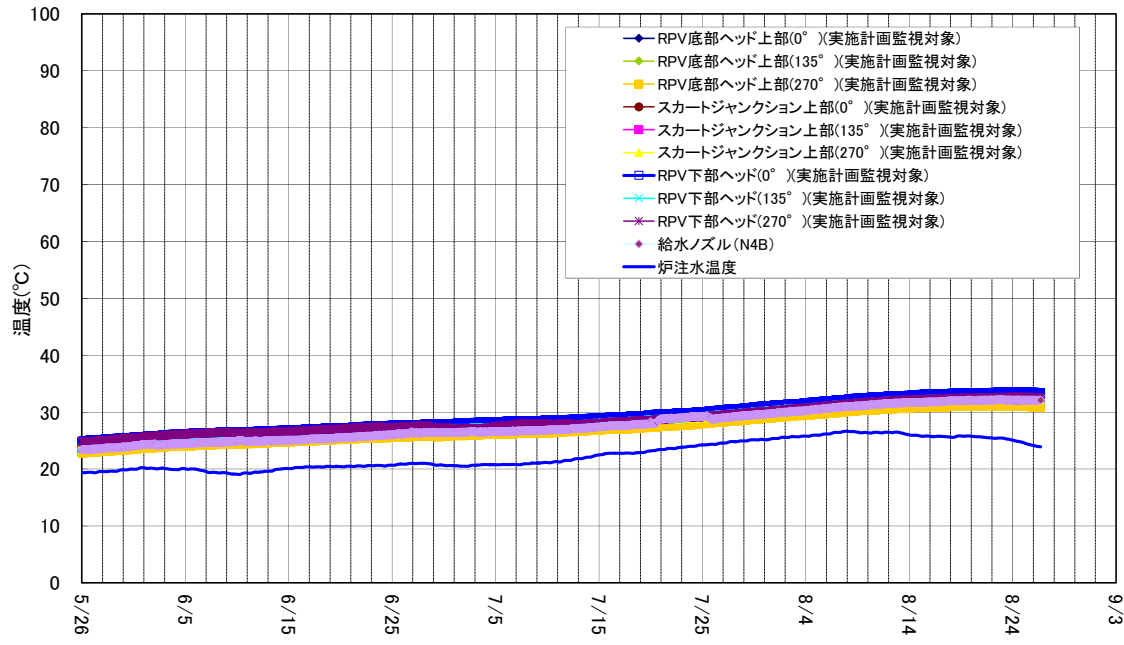


\* : HVH供給(16F1)は2012/3/22に参考温度計と判断。  
 \* : HVH戻り(16A), HVH戻り(16D), HVH供給(16H1)は2012/6/11に参考温度計と判断。  
 \* : PCV温度計(114W#1), PCV温度計(114W#2)は2012/11/6に保安規定監視対象計器と判断。  
 \* : PCV温度計(TE-16-007), PCV温度計(TE-16-008)は2014/7/17に実施計画監視対象計器と判断。

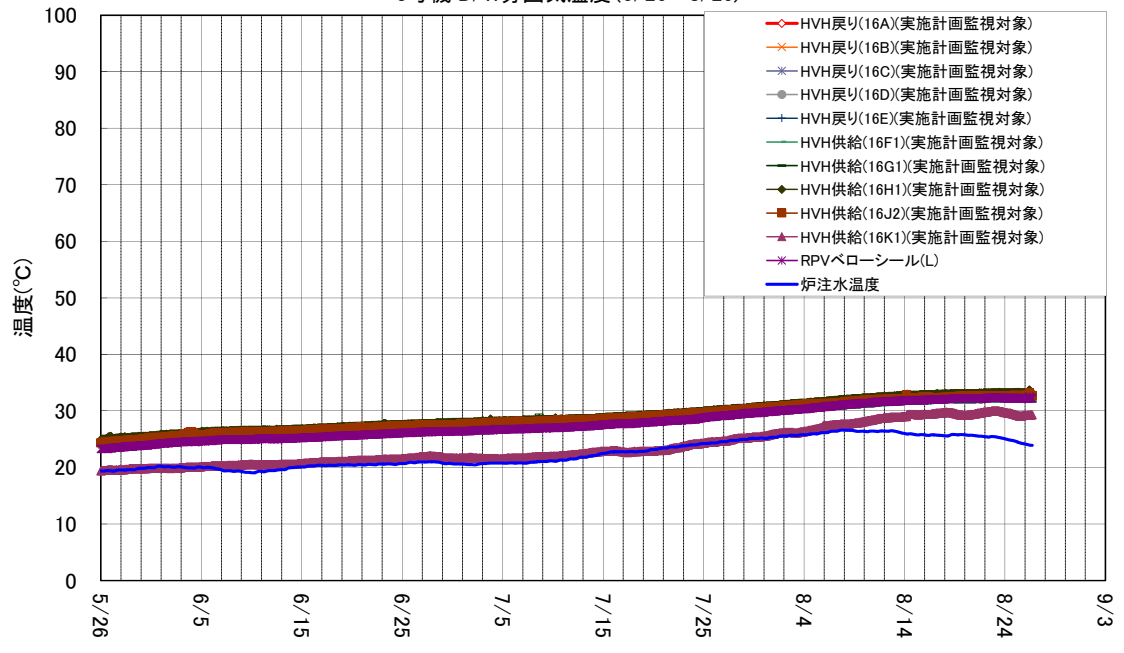
# 3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度 (5/26~8/26)



3号機 D/W雰囲気温度 (5/26~8/26)



滞留水の貯蔵状況(8月20日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

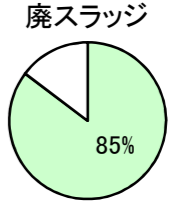
- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
  - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
  - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量
  - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
  - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
  - ・構内散水によりFエアータンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
  - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,000m <sup>3</sup>	OP.2,441
2号機	約16,400m <sup>3</sup>	OP.2,909
3号機	約18,700m <sup>3</sup>	OP.3,126
4号機	約17,800m <sup>3</sup>	OP.3,051
合計	約65,900m <sup>3</sup>	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約17,740m <sup>3</sup>	OP.5,016
高温焼却炉建屋	約3,950m <sup>3</sup>	OP.2,462
合計	約21,690m <sup>3</sup>	

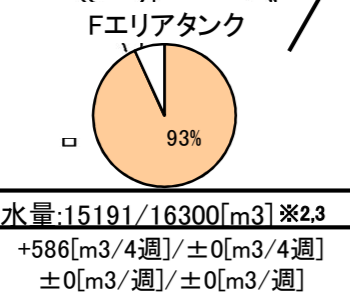
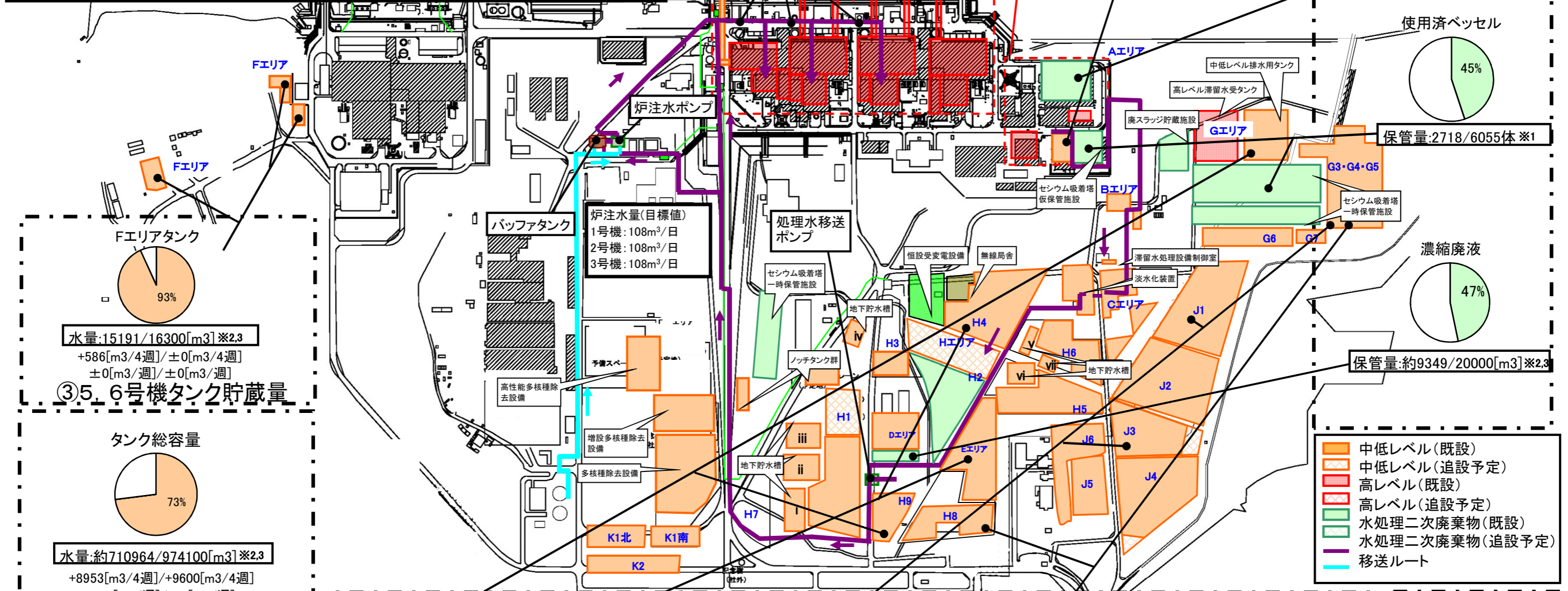
④廃棄物発生量



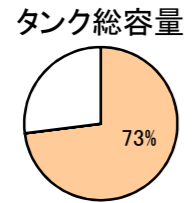
保管量:597/700[m<sup>3</sup>]\*3

	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	786m <sup>3</sup>	1,200m <sup>3</sup>
SPT(B)	1,223m <sup>3</sup>	3,100m <sup>3</sup>
合計	+532[m <sup>3</sup> /4週]	(合計):-59[m <sup>3</sup> /週]

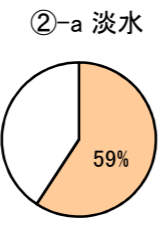
(合計)+2800[m<sup>3</sup>/4週] (合計):±0[m<sup>3</sup>/週]



③5, 6号機タンク貯蔵量

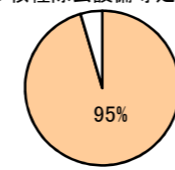


タンク貯蔵量合計(②+③)

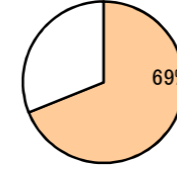


②-b濃縮塩水(残水)

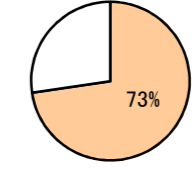
②-c 処理水(多核種除去設備等処理済水)



②-d Sr処理水等



1~4号機タンク総容量



水量:約785372[m<sup>3</sup>]  
+11459[m<sup>3</sup>/4週]\*5  
+2153[m<sup>3</sup>/週]

建屋内貯蔵量  
+  
1~4号機タンク貯蔵量  
(①+②)

水量:約16293/27500[m<sup>3</sup>]\*2,3  
水位計0%以上の水量:15293[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m<sup>3</sup>]

水量:約3600/157900[m<sup>3</sup>]\*2,3  
水位計0%以上の水量:約500[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3100[m<sup>3</sup>]

水量:約516706/541400[m<sup>3</sup>]\*2,3,4,6  
水位計0%以上の水量:515706[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m<sup>3</sup>]

水量:約159174/231000[m<sup>3</sup>]\*2,3  
水位計0%以上の水量:156174[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3000[m<sup>3</sup>]

水量:約695773/957800[m<sup>3</sup>]\*2,3,4  
水位計0%以上の水量:687673[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約8100[m<sup>3</sup>]

-60[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
-179[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

-200[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
±0[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

+26543[m<sup>3</sup>/4週]/+9600[m<sup>3</sup>/4週]  
+6276[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

-17916[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
-4525[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

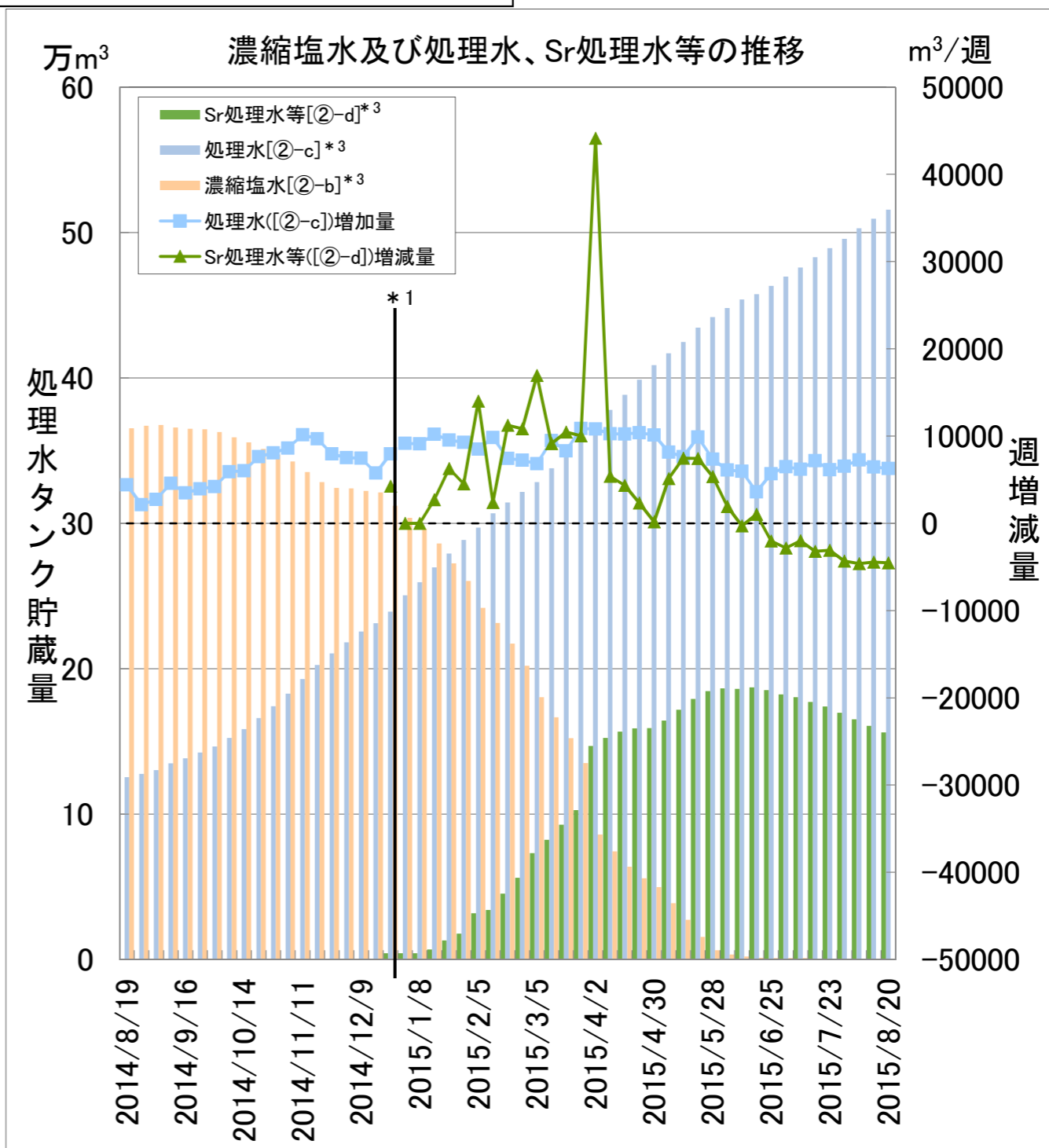
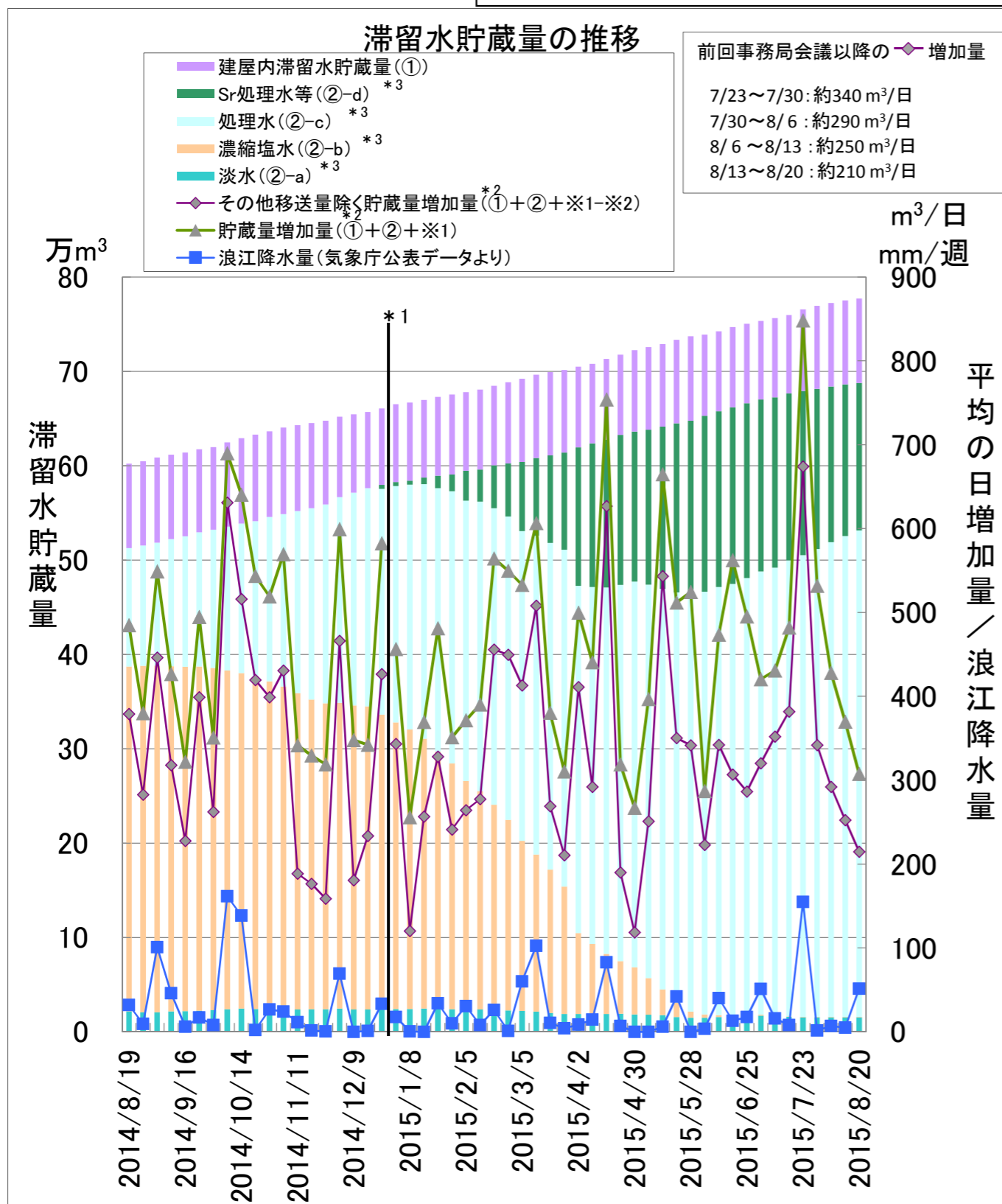
+8367[m<sup>3</sup>/4週]/+9600[m<sup>3</sup>/4週]  
+1572[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時貯留量(\*8月24日時点の値を記載)  
・ノッチタンク群 約500(±0[m<sup>3</sup>])/約4900[m<sup>3</sup>]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む  
 ※2 装置稼動中につき水位が静定しないため参考扱い  
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)  
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵  
 ※5 ウェルポイント(約370m<sup>3</sup>/週)、3号機廃棄物地下貯蔵設備建屋から3号機廃棄物処理建屋(約110m<sup>3</sup>/週)の移送量約480m<sup>3</sup>/週を含む  
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

# 滞留水の貯蔵状況の推移



処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m³]	[m³/週]	[m³/日] <sup>注1)</sup>	[m³/日]
既設多核種除去設備 <sup>注2)</sup>	254,212	0	0	750以上
増設多核種除去設備	184,188	3,714	531	750以上
高性能多核種除去設備	83,267	2,562	366	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m³/週]	[m³/日] <sup>注1)</sup>	[m³/日]	
セシウム吸着装置	1,812	259	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

注1) 週間の平均値  
注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

①: 建屋内滞留水貯蔵量 (1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量 ([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])

※1: タンク底部から水位計0%までの水量 (DS)

※2: ウェルポイント汲み上げ量、建屋間の連通がない建屋から連通がある建屋への移送量、多核種除去設備薬液注入量等の合計

\*1: 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)  
\*2: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量 (①+②)→(①+②+※1)、その他移送量除く貯蔵量増加量 (①+②-※2)→(①+②+※1-※2))  
\*3: 水位計0%以上の水量

## 各エリア別タンク一覧

(2015年8月20日 現在)

### 1～4号機用汚染水貯蔵タンク

※下線部は前回報告からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備考
B南	5	450	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
B北	15	300	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
D	13	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	18	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
E	18	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(C)	
	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	淡水	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	40	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
G4南	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	17基の内、2基は使用時期未定
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G6北	19	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	漏えいが確認されたため、1基使用停止 20-1=19
G6南	18	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・高性能・増設)	
H3	10	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	高線量箇所が確認された 1基使用停止 11-1=10 残水処理中
H4	20	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4北	21	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたこと等から、2基撤去済み 23-2=21 残水処理中
H5	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
	23	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J1	64	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	34	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(A, C)	
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	20	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J4	29	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	28	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
多核種除去 設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核 種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	953			Sr処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、M:モバイル型ストロンチウム除去装置等 R:RO濃縮水処理設備、A:多核種除去設備等	

#### 濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	100	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

#### 高濃度滞留水受けタンク

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

#### 5, 6号機用汚染水貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
合計	49				

(参考)

#### 地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--



# 汚染水等構内溜まり水の状況 (H27.8.26時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134:5.7E2 Cs137:2.3E3 全β:6.0E3 Sr90:<ND(0.9) H3:<ND(1.0E2) (H27.6.9) 【1階】 Cs134:4.6E2 Cs137:1.8E3 全β:2.2E3 Sr90:1.9 H3:<ND(1.0E2) (H27.6.9)
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (H27.4.16時点)	Cs134:26 Cs137:65 Co60:13 (H26.2.6)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (H27.4.16時点)	Cs134:26 Cs137:65 Co60:13 (H26.2.6)
4	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中)】 Cs134:1.9E+3 Cs137:6.8E+3 全β:3.0E+6 (2015/4/2)
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(35m盤)	約1(一部1cm残水あり)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134:2.3E+03 Cs-137:4.3E+03 全β:6.6E+07 (H25.11.19)
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	35m盤タンクエリア	約900 (H27.6.30時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済 【1000tノッチタンク】 Cs134:1.7E1 Cs137:6.1E1 全β:9.6E4 (H27.6.3)
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー/濃縮水)	35m盤タンクエリア (Cエリア)	約85 (H27.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134:1.7E4 Cs137:2.5E4 全β:4.7E8 ※ (H23.12.20)
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	35m盤タンクエリア	約6000 (H27.4.16時点)	【淡水化装置出口水】 H3:8.7E5 全β:1.5E4 (H24.9.18)
9	5,6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	5,6号機スクリーン近傍	(5号機吐出弁ピット) 約550 (6号機吐出弁ピット) 約850	【5号機吐出弁ピット】 Cs134:100 Cs137:160 【6号機吐出弁ピット】 Cs134:110 Cs137:140 (H24.2)
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:250~740 Cs137:980~2700 全β:1400~6900 (H26.11.26) 【2号機T/B上屋】 Cs134:120~3000 Cs137:420~10,000 全β:500~29,000 (H26.12.1)

※誤記訂正(分析結果4.7E5[Bq/cm<sup>3</sup>]の転記誤り)

# 汚染水等構内溜まり水の状況 (H27.8.26時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	排水完了(H27.6.26) (残水あり)	Cs134:6.4E+5 Cs137:2.5E+6 全β:3.3E+6 (H27.3.23)
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2260 (H27.6.17現在)	Cs134:1.7E+4 Cs137:5.7E+4 全β:4.2E+6 (H27.3.23)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2120 (H27.6.17現在)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (H27.6.2) <u>(H27.7.14)</u> H3:3.2E+5 <u>3.1E+5</u> Sr90:1.7E+2 <u>8.3E+1</u> 【CST貯留水】 (H27.7.16) Cs134:2.1E+3 Cs137:8.0E+3
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2000	【プラント復水】
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	35m盤タンクエリア	数m3	【RO濃縮水残水、検知孔くみ上げ水】 全β:2.0×10 <sup>6</sup> (H27.5.22)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	35m盤タンクエリア	約880	【RO濃縮水残水、ドレン孔/検知孔くみ上げ水】 全β:2.1×10 <sup>6</sup> (H27.5.22)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	35m盤タンクエリア	約80	【RO濃縮水残水】 -
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	35m盤タンクエリア	約20	【タンク堰内雨水残水】 -
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	35m盤タンクエリア	約10	【使用実績なし(水張試験残水)】 -
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	35m盤タンクエリア	約80	【RO濃縮水残水】 -
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	35m盤タンクエリア	約60	【タンク堰内雨水残水】 -
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機海水配管トレンチ ・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト ・4号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~2400	Cs134:2.4E1~6.4E4 Cs137:8.3E1~2.1E5 全β:5.6E1~2.9E5 H3:ND~7.9E3 (H26.12~H27.1)
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600	Cs134:6.1E2 Cs137:1.9E3 全β:2.2E3 H3:2.0E2 (H26.12)
24	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (H27.6.30時点)	-
<u>25-1</u>	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	<u>0<sup>(注)</sup></u> <u>(H27.7.30時点)</u> 90 (H27.7.27) <u>(注)立坑D上部を除く</u>	<u>二</u> 【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β:4.2E6 H3:1.5E5 (H27.2.27)

# 汚染水等構内溜まり水の状況 (H27.8.26時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	約60 <sup>(注)</sup> <small>(注) 建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く</small>	Cs134: 7.5E4~1.4E6 Cs137: 2.6E5~4.7E6 全β: 3.9E5~6.8E6 H3: 2.8E3~2.1E4 (H27.4)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約750	Cs134: 1.6E2 Cs137: 5.3E2 全β: 8.1E2 H3: 1.3E2 (H26.12)
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	3号機廃棄物処理建屋西側	約420	Cs134: 2.7E1 Cs137: 9.4E1 全β: 1.2E2 H3: 3.1E2 (H26.12)
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1-800	Cs134: 1.9E1~1.2E4 Cs137: 5.0E1~1.5E4 全β: 6.8E1~2.6E3 H3: ND~2.1E2 (採取期間: H24.1~H27.2)
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺 ※「未復旧」	約20m <sup>3</sup>	No.16 Cs134: 8.3E+04 <b>1.4E5</b> Cs137: 3.4E+05 <b>6.4E5</b> 全β: 3.9E+05 <b>7.1E5</b> H-3: 4.1E+03 <b>5.0E3</b> (H27.5.25) <b>(H27.7.29)</b>
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 ※「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134: ND~3.9E1 Cs137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (H26.11.10)
31	1~4号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット ・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	1~4号タービン建屋海側	(1号機逆洗弁ピット) 約500 (1号吐出弁ピット) 約90 (4号吐出弁ピット) 約770	(1号機逆洗弁ピット) 【ピット①】(H27.1.15) Cs134: 1.1E4, Cs137: 4.2E4 全β: 5.3E4, H3: 6.9E2 【ピット②】(27.1.15) Cs134: 1.1E4, Cs137: 4.3E4 全β: 5.2E4, H3: 5.8E2 【ピット③】(H27.1.15) Cs134: 1.2E4, Cs137: 4.4E4 全β: 5.3E4, H3: 7.0E2 【ピット④】(H27.1.15) Cs134: 1.2E4, Cs137: 4.4E4 全β: 5.4E4, H3: 6.0E2  (1号機吐出弁ピット)(H26.12) Cs134: 2.3E2 Cs137: 8.2E2 全β: 1.2E3 H3: ND  (4号機吐出弁ピット)(H26.12) Cs134: 9.9E2 Cs137: 3.2E3 全β: 5.1E3 H3: 1.2E2
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約3800	【放水路上流側立坑】 (H27.7.27) <b>(H27.8.21)</b> Cs134: 1.5E4 <b>2.3E4</b> Cs137: 5.9E4 <b>9.0E4</b> 全β: 8.0E4 <b>1.0E5</b> H3: 6.4E2 <b>2.8E2</b>
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (H27.7.27) <b>(H27.8.21)</b> Cs134: 2.7E2 <b>6.0E2</b> Cs137: 9.8E2 <b>2.2E3</b> 全β: 2.1E3 <b>3.5E3</b> H3: ND(1.1E2) <b>ND(1.1E2)</b>

# 汚染水等構内溜まり水の状況 (H27.8.26時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134:2.6E2 Cs137:1.1E3 全β:1.7E3 H3:9.0E2 (H27.6.10)
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (H26.5.23)
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1000	Cs134:ND Cs137:ND Co60:1.922E+01 (H27.6.4)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1250	Cs134:ND Cs137:ND Co60:5.254E+02 (H27.6.16)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト等	5~6号機周辺	約1~1200/トレンチ	Cs134:ND~2.2E3 Cs137:7.2E1~3.3E3 (採取期間:H24.1~H24.2)
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5~6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134:ND~0.34 Cs137:ND~0.95 全β:ND~2.6 H-3:ND~25 (採水期間:H26.8~H26.11)
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134:1.0E+1 Cs137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (H24.1.18)
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (H27.3.25時点)	Cs134:8.0E+4 Cs137:1.6E+5 Co60:6.5E+2 (H25.8.27)
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等各建 屋周辺	約15/ピット	Cs134:ND~53 Cs137:ND~130 全β:ND~240 H-3:14~210 (採水期間:H25.12.12~H25.12.19)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約8000	Cs134(2)、Cs137(5)、H3(ND)、 Co60(5)、全β 20 Bq/L (H26.9.19)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(10M盤)	約850	Cs134:2.1 Cs137:7.2 全β:12.2 H-3:ND (H27.5.29)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約6000 (H27.6時点)	【5号機】 Cs134(ND)、Cs137(2)、H3(132)、全 β(ND) (H27.6.17) 【6号機】 Cs134(5.2)、Cs137(17)、H3(531)、全 β(138) (H27.6.18)